

令和8年度 目黒区立第一中学校 学校グランドデザイン

Research : 各種調査等による実態

〔学校の実態〕

- ・6学級
生徒数162名
- ・不登校支援拠点校
- ・教員 13名
主幹(4) 主任(6)
教諭(4)

〔生徒の実態〕

(省略)

〔保護者・地域の実態〕

(省略)

校長の経営方針

- 1 確かな学力**
・日々の授業を大切に。 (ねらい・振り返り)
・個に応じた学習の充実 (特別支援教育)
- 2 豊かな心**
・人権教育の推進
・人とのかかわりを重視した取組の推進
- 3 健やかな心と体**
・学校2020レガシーの推進
・部活動の活性化
- 4 開かれた学校**
・CS委員会を中心とした地域連携
- 5 働き方改革**
・情報共有等の効率化
・定時退庁日の設定を含む、業務の効率化

目指す生徒像

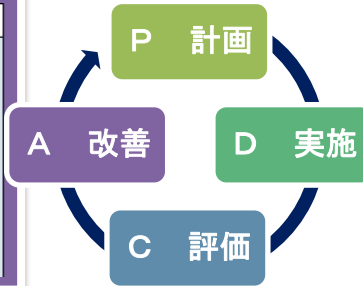
- ◎自主・自立の精神をふまえ、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成を目指して、教育を推進する
- 自らよく学びよく考え、責任をもって実践する生徒
- 礼儀正しく、誠実で思いやりの心をもつ生徒
- 心身ともに健康でこれからの社会で役に立つ生徒

指導の重点

- 1 学習指導**
基礎・基本の確実な定着 (授業規律・少人数指導)
主体的・対話的で深い学びの推進 (授業改善)
個に応じた指導とICT活用の充実 (個別最適+協働的学び)
- 2 生活指導**
基本的な生活習慣と規範意識の育成
いじめ・不登校の未然防止、早期発見・対応
組織的対応と相談体制の充実による安心な環境づくり
- 3 キャリア教育**
自己理解に基づく主体的な進路選択力の育成
職場体験等による勤労観・職業観の育成
- 4 特別支援教育**
個別の指導計画に基づく支援の充実
多様性を尊重した学習環境の充実

改善検討組織

- ＜校内組織＞
- ・企画会 ・教務部会
 - ・学年会
- ※校内研究会を活用して、実践共有(D)及び取組の評価(C)を実施
※企画会で取組の方向性を検討(P)し、教務部会をととして各学年に周知



評価方法

- ① 学力調査 (目黒区学習状況調査)
- ② 研究アンケート (目黒区教育委員会と連携)
- ③ 学校評価 (学校運営協議会と連携)

対象	評価指標	目標値
生徒	区学習状況調査	各項目標準値を3%上回る
	研究アンケート	該当項目の肯定的意見80%以上
	四者評価	該当項目の肯定的意見80%以上
教員	研究アンケート	該当項目の肯定的意見80%以上
	四者評価	該当項目の肯定的意見80%以上
保護者	四者評価	該当項目の肯定的意見80%以上

～1単位時間45分授業を活用した「自主・自立の精神」の育成～

	月	火	水	木	金
登校時間	8:10~8:20 登校				
朝の活動	8:25~8:35 全校朝礼	朝読書			
朝学活	8:35~8:45 朝学活				
1校時	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>「45分授業」の実施 5分間の時間創出</p> <p>☆50分授業からの転換により改善した授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問、板書、学習活動のリデザイン ・単元単位での学習内容の精選 ・ICT機器活用の必然性の向上 (相互参照等) </div>				
2校時					
3校時					
4校時	11:35~12:20				
給食	12:20~12:50 給食				
昼休み	12:50~13:10 昼休み				
5校時	13:15~14:00				
6校時	14:10~14:55				
終学活	15:00~15:10 終学活	14:10~14:55 選択学習			
清掃	15:10~15:20 清掃	15:00~15:30 清掃			
放課後の活動	15:30~ 部活動、放課後補充学習等				
最終下校	17:30 下校				

生み出した時間の活用

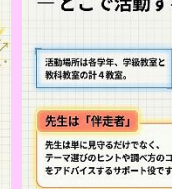
生徒の資質・能力の向上
教員の業務効率及び働きやすさの向上

- ☆「選択学習」(※1)の設定 (30分×40回)
- ・各学年を4つの教室に分けて探究活動 (全35回)
- ・自らの学びをコントロールする力を身に付ける
- ・自分の強みを理解し、多様な他者の存在を知る
- ・「教える」から「学びを支える」への指導観の転換

何に取り組むか? — 自由なテーマ設定



君たちのワークスペース
— どこで活動するか?



(「選択学習」オリエンテーション資料より)

☆個別対応の実施

- ・国語、数学、英語の放課後補充教室の開催
- ・SC全員面談の実施等、教育相談の実施
- ・外部指導員を活用した部活動の実施

☆放課後の時間の活用 (空きコマ含む)

- ・授業づくり (教材研究・資料作成)
- ・学年会等における生徒情報の共有
- ・SC、各種支援員、校内別室との情報共有機会確保
- ・地域連携、企業連携等に向けた会議時間の確保

☆下校時刻の30分繰り上げ